

建築学科

人材養成および教育研究上の目的

建築学科は、美しく、快適で、安全で、豊かな建築空間・都市空間を創造できる人材の育成を教育研究の理念とする。この理念に基づき、建築分野に要求される社会的・技術的ニーズに適切に応えられる建築技術者としての十分な基礎学力を身に付け、高度で実践的な専門性を獲得すると同時に、調和のとれた教養を有する人格を有し、社会において指導力を発揮して、幅広く活躍・貢献できる人材を養成することを目的とする。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

建築学科の教育理念は、「建築技術者としての十分な基礎学力を身につけ、高度で実践的な専門性を獲得すると同時に、調和のとれた教養を有する人格の形成をはかり、社会において指導力を発揮して、幅広く活躍・貢献できる人材を地域と連携して育成することを目指す。」です。この教育理念を理解し、建築学に関する高度な専門知識と倫理観を身につけた建築技術者になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考える学生を多様な入学試験により選抜します。

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

建築学科では、1年次、2年次は工学の基礎ならびに建築学を修得するための基礎を学習するため、全学生がほぼ同じカリキュラムを履修することになります。3年次、4年次では「総合コース」、「設計・計画コース」および「構造コース」に分かれます。

「総合コース」は、一級建築士の取得を目標に、総合的な視野で建築業界において幅広く活躍できる人材の育成を目標としています。

「設計・計画コース」は、設計・計画のプロフェッショナルを目指すコースであり、建築学全般に渡る基礎を修得した上で、さらに、設計・計画に特化した教育プログラムとしています。

「構造コース」は、構造技術者のエキスパートになるためのコースであり、建築学全般に渡る基礎を修得した上で、さらに、構造理論、計画、設計に特化した教育プログラムとしています。なお、「設計・計画コース」および「構造コース」はJABEE認定コースです。

いずれのコースにおいても、建築デザインの方法論や建築構造の力学理論などをはじめとして、安全で安心できる建築空間創造の技術や地球環境といった今日の問題まで幅広く学び、設計製図・実験・実習などを通して、建築に関する総合的な能力を修得させ





る方針でカリキュラムを構成しています。

❖ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

建築技術者としての十分な基礎学力を身につけ、高度で実践的な専門性と調和のとれた教養を有する人格を形成し、社会において指導力を発揮して、幅広く活躍・貢献できる能力の修得をもって学位を授与します。建築学科の卒業認定は、共通教育科目 26 単位以上、工学共通科目 18 単位以上、専門教育科目 86 単位以上の合計 130 単位以上を修得することが条件となっています。これは学則第 31 条から第 34 条までの規程および学科履修規程で定められた最小限の認定条件であり、社会に通用する建築技術者には幅広い知識と能力が要求されるため建築学科においては専門科目をできるだけ多く修得することが望まれます。

